

2 火災の概要

(1) 概 要

平成25年中における火災の概況は、出火件数963件、これらの火災による被害は、損害額18億6,976万8千円、死者30人、負傷者119人、焼損棟数632棟、建物焼損床面積28,063㎡、同表面積1,523㎡、林野焼損面積837a、り災世帯数336世帯、り災人員978人となっている。(表2-1)

表2-1 平成25年中の火災の概況

区 分		平成25年 (A)	平成24年 (B)	増減数 (C)=A-B	増減率 (C/B*100)	
出火件数	建物火災	427 件	398 件	29 件	7.3 %	
	林野火災	49 件	21 件	28 件	133.3 %	
	車両火災	84 件	81 件	3 件	3.7 %	
	船舶火災	0 件	0 件	0 件	- %	
	その他の火災	403 件	257 件	146 件	56.8 %	
	計	963 件	757 件	206 件	27.2 %	
焼損棟数	全 焼	170 棟	161 棟	9 棟	5.6 %	
	半 焼	37 棟	54 棟	△ 17 棟	△ 31.5 %	
	部分焼	202 棟	186 棟	16 棟	8.6 %	
	ぼ や	223 棟	201 棟	22 棟	10.9 %	
	計	632 棟	602 棟	30 棟	5.0 %	
焼損面積	建物	床面積	28,063 ㎡	27,815 ㎡	248 ㎡	0.9 %
		表面積	1,523 ㎡	2,153 ㎡	△ 630 ㎡	△ 29.3 %
	林 野	837 a	316 1	731 a	689.6 %	
死 者		30 人	36 人	△ 6 人	△ 16.7 %	
負 傷 者		119 人	100 人	19 人	19.0 %	
り災世帯	全 損	90 世帯	83 世帯	7 世帯	8.4 %	
	小 半 損	246 世帯	240 世帯	6 世帯	2.5 %	
	計	336 世帯	323 世帯	13 世帯	4.0 %	
り 災 人 員		978 人	865 人	113 人	13.1 %	
火災損害額	建物火災	建 物	1,142,184 千円	1,122,172 千円	20,012 千円	1.8 %
		収 容 物	643,314 千円	532,317 千円	110,997 千円	20.9 %
		計	1,785,498 千円	1,654,489 千円	131,009 千円	7.9 %
	林野火災	6646 千円	456 千円	6,190 千円	1357.5 %	
	車両火災	56921 千円	45,827 千円	11,094 千円	24.2 %	
	船舶火災	0 千円	0 千円	0 千円	- %	
	その他火災	20527 千円	132,184 千円	△111,657 千円	△ 84.5 %	
	爆 発	176 千円	3,586 千円	△ 3,410 千円	△ 95.1 %	
	合 計	1,869,768 千円	1,836,542 千円	33,226 千円	1.8 %	
出 火 率 (人口1万人あたりの出火件数)		4.67 件	3.65 件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数で206件（27.2%）の増加となっており、火災種別ごとに見ると、建物火災29件（7.3%）、林野火災28件（13.3%）、車両火災3件（3.7%）、その他火災146件（56.8%）と全て増加している。

損害額を前年と比べると、総額で3,322万6千円（1.8%）増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災1億3,100万9千円（7.9%）、林野火災619万円（13.5%）、車両火災1,109万4千円（24.2%）増加しており、その他火災1億1,165万7千円（△84.5%）、爆発3,410万円（△95.1%）減少している。

次に、平成25年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数2.6件、損害額512万3千円、建物焼損棟数1.7棟、建物焼損床面積76.9㎡、建物焼損表面積4.2㎡、林野火災面積2.3aとなっている。（表2-2）

表2-2 1日あたりの火災による損害

区 分	単 位	平成25年 (A)	平成24年 (B)	増減数 (A-B)
出 火 件 数	件	2.6	2.1	0.6
損 害 額	千円	5123	5032	91
建 物 焼 損 棟 数	棟	1.7	1.6	0.1
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	76.9	76.2	0.7
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	4.2	5.9	△ 1.7
林 野 焼 損 面 積	a	2.3	0.3	2.0

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比44.3%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災（堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災）、車両火災、林野火災（原野・牧野・天然林・人工林の火災）の順となっている。

前年構成比と比べると、林野火災、その他火災が増加し、建物火災、車両火災が減少した。（表2-3）

表2-3 火災種別出火件数の構成比

単位：件、%

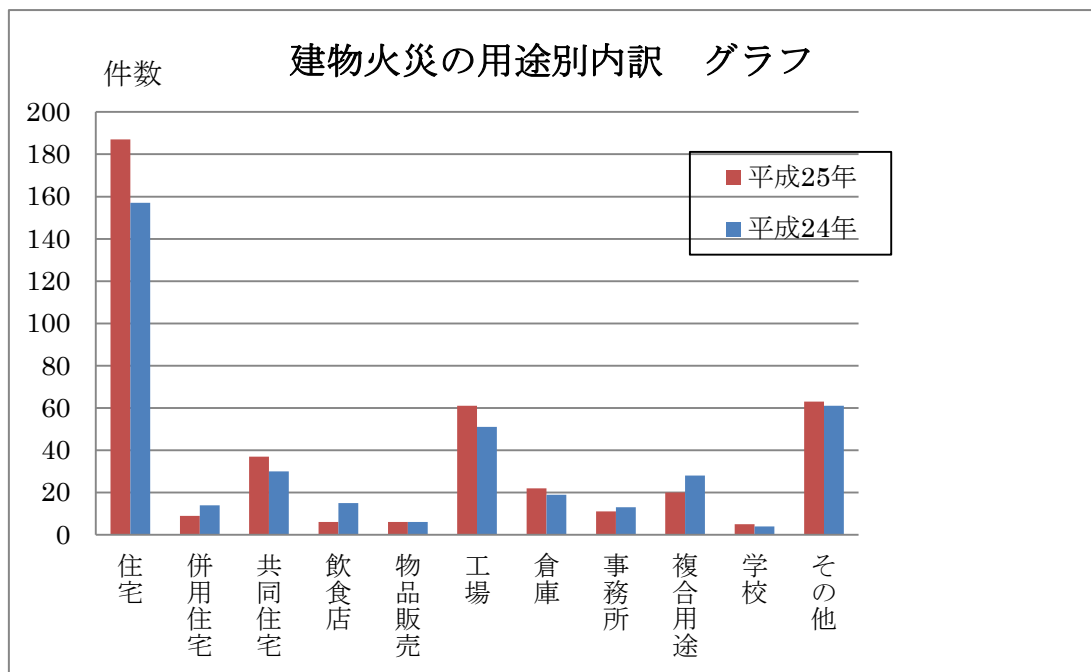
	平成25年		平成24年	
	出火件数	構成比	出火件数	構成比
建 物 火 災	427	44.3	398	52.6
林 野 火 災	49	5.1	21	2.8
車 両 火 災	84	8.7	81	10.7
船 舶 火 災	0	0.0	0	0.0
そ の 他 の 火 災	403	41.8	257	33.9
計	963	100.0	757	100.0

イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が187件（43.8%）、併用住宅が9件（2.1%）、共同住宅が37件（8.7%）発生しており、これらを合わせると54.6%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、倉庫、複合用途（一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）の順となっている。（表2-4）

表2-4 建物火災の用途別内訳

区分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
平成25年	件数	187	9	37	6	6	61	22	11	20	5	63	427
	構成比	43.8	2.1	8.7	1.4	1.4	14.3	5.2	2.6	4.7	1.2	14.8	100
平成24年	件数	157	14	30	15	6	51	19	13	28	4	61	398
	構成比	39.4	3.5	7.5	3.8	1.5	12.8	4.8	3.3	7.0	1.0	15.3	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、1月～3月が327件（34.0%）と最も多く発生しており、次いで4月～6月255件（26.5%）、7月～9月195件（20.2%）、10月～12月186件（19.3%）の順となっている。

前年に比べると、4月～6月、10月～12月の比率は減少しているが、1月～3月、7月～9月の比率は増加している。（表2-5）

表2-5 季節別出火状況

区分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
平成25年	出火件数	327	255	195	186	963
	構成比	34.0	26.5	20.2	19.3	100.0
平成24年	出火件数	187	213	151	206	757
	構成比	24.7	28.1	19.9	27.2	100.0

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たき火による火災が121件（12.6%）で1位となっている。続いて、たばこ86件（8.9%）、火入れ60件（6.2%）、こんろ55件（5.7%）、放火の疑い48件（5.0%）の順となっている。

昨年と比べると、たき火63件（108.6%）、たばこ19件（28.4%）、火入れ31件（106.9%）、マッチ・ライター13件（118.2%）、火遊び5件（31.3%）が増加している。（表2-6）

表 2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

	平成 25 年 (A)			平成 24 年 (B)			増減 (C) A-B	増減率 (C/B) *100
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比		
た き 火	1	121	12.6	2	58	7.7	63	108.6
た ば こ	2	86	8.9	1	67	8.9	19	28.4
火 入 れ	3	60	6.2	6	29	3.8	31	106.9
こ ん ろ	4	55	5.7	2	58	7.7	△ 3	△ 5.2
放 火 の 疑 い	5	48	5.0	4	48	6.3	0	0.0
放 火	6	42	4.4	5	42	5.5	0	0.0
ス ト ー ブ	7	26	2.7	7	27	3.6	△ 1	△ 3.7
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	8	24	2.5	12	11	1.5	13	118.2
電 灯 電 話	9	22	2.3	8	24	3.2	△ 2	△ 8.3
火 遊 び	10	21	2.2	10	16	2.1	5	31.3
そ の 他		281	29.2		214	28.3	67	31.3
不明(調査中を含む)		177	18.4		163	21.5	14	8.6
計		963	100.0		757	100.0	206	27.2

(4) 損 害 額

平成 25 年中の火災による損害額は、18 億 6,976 万 8 千円で、前年に比べ 3,322 万 6 千円減少しており、1 件あたりの損害額も 194 万 2 千円と、前年に比べ 48 万 4 千円減少した。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の 95.5% を占めている。次いで、車両火災 (3.0%)、その他火災 (1.1%)、林野火災 (0.4%) の順となっている。

火災種別ごとに 1 件あたりの損害額を前年と比べると、建物火災 2 万 4 千円、林野火災 1 万 4 千円、車両火災 1 万 2 千円増加し、その他火災 4 万 3 千円、爆発 1 万 4 千円減少している。(表 2-7)

表 2-7 火災種別損害額

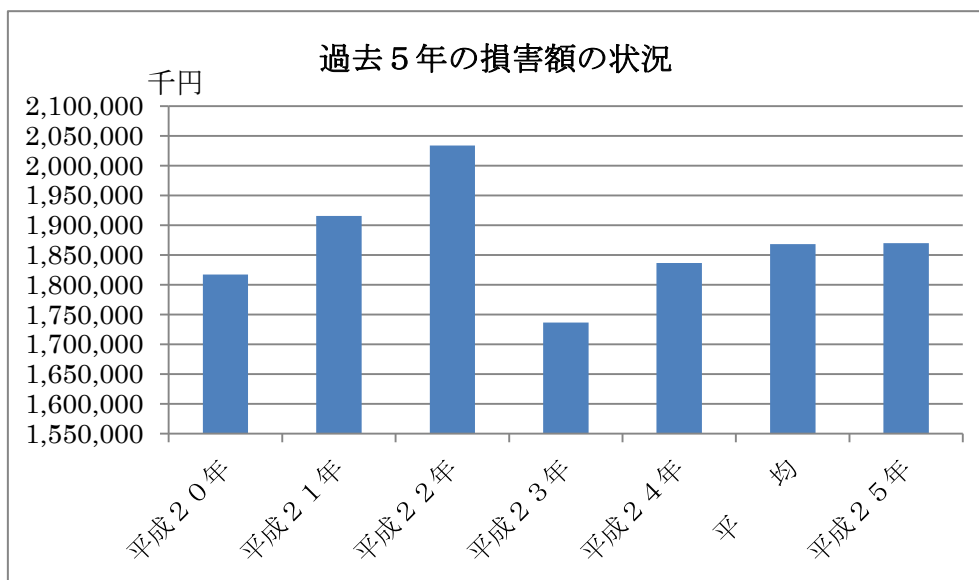
(単位:千円)

	平成 25 年			平成 24 年			増 減	
	損害額	1 件あたり 損害額	構成比	損害額	1 件あたり 損害額	構成比	1 件あたり 損害額	率
建 物 火 災	1,785,498	4,181	95.5	1,654,489	4,157	90.1	24	0.6
林 野 火 災	6,646	136	0.4	456	22	0.0	114	524.6
車 両 火 災	56,921	678	3.0	45,827	566	2.5	112	19.8
その他火災 (船舶火災含む)	20,527	51	1.1	132,184	514	7.2	△ 463	△ 90.1
爆 発	176	44	0.0	3,586	1,793	0.2	△ 1,749	△ 97.5
計	1,869,768	1,942	100.0	1,836,542	2,426	100.0	△ 484	△ 20.0

次に、平成25年中の火災による損害額を過去5年間の平均損害額と比べると、その他火災及び総額は平均を上回っており、建物火災、林野火災、車両火災及び爆発は平均を下回っている。(表2-8)

表2-8 過去5年間の損害額の状況

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆発	総額
平成20年	1,706,382	104	60,975	49,846	50	1,817,357
平成21年	1,780,102	599	54,143	73,086	7,797	1,915,727
平成22年	1,935,694	1,476	81,456	14,443	619	2,033,688
平成23年	1,625,997	3,170	54,162	9,988	43,303	1,736,620
平成24年	1,654,489	456	45,827	132,184	3,586	1,836,542
平均	1,740,533	1,161	59,313	55,909	11,071	1,867,987
平成25年	1,785,498	6,646	56,921	20,527	176	1,869,768



(5) 火災による死者及び負傷者

ア 火災種別ごとの死者数

平成24年中の火災による死者数は36人で、前年と比較すると6人(14.3%)減少している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが27人で、死者総数の75.0%を占めている。次いでその他火災7人(19.4%)、車両火災2人(5.6%)の順となっている。

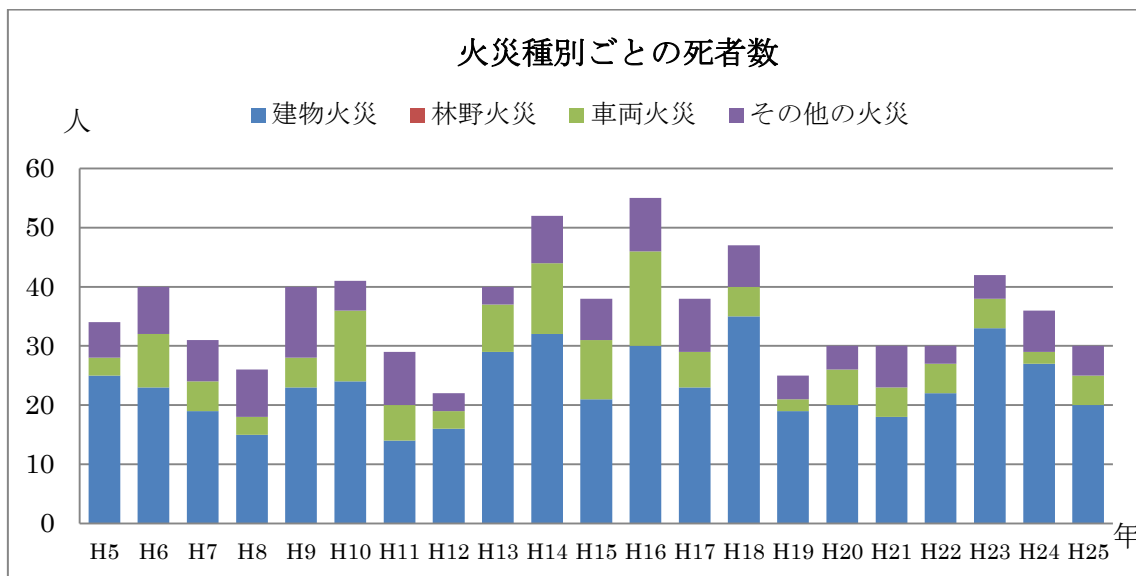
過去20年の平均と比べると、建物火災とその他火災が平均を上回った。(表2-9)

2-9 火災種別ごとの死者数

区分	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
建物火災	25	23	19	15	23	24	14	16	29	32
林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	3	9	5	3	5	12	6	3	8	12
その他の火災 (船舶火災含む)	6	8	7	8	12	5	9	3	3	8
計	34	40	31	26	40	41	29	22	40	52

区 分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
建 物 火 災	21	30	23	35	19	20	18	22	33	27
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	10	16	6	5	2	6	5	5	5	2
その他の火災 (船舶火災含む)	7	9	9	7	4	4	7	3	4	7
計	38	55	38	47	25	30	30	30	42	36

区 分	平均	H25
建 物 火 災	23.4	20
林 野 火 災	0.0	0
車 両 火 災	6.4	5
その他の火災 (船舶火災含む)	6.5	5
計	36.3	30



イ 火災種別ごとの負傷者

平成25年中の火災による負傷者は119人で前年に比べ19人(19.0%)増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが85人で、負傷者総数の71.4%を占めている。次いでその他火災19人(20.0%)、車両火災10人(8.4%)、林野火災5人(4.2%)の順となっている。

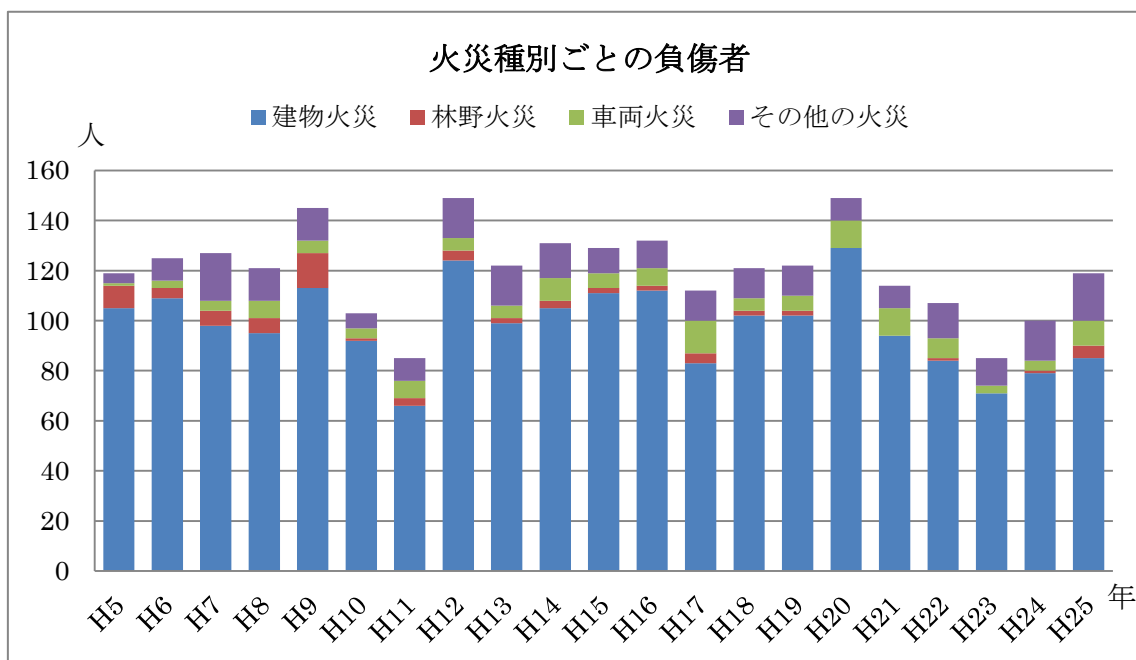
過去20年間の平均と比べると、林野火災、車両火災、その他火災が平均を上回った。(表2-10)

表2-10 火災種別ごとの負傷者

区 分	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
建 物 火 災	105	109	98	95	113	92	66	124	99	105
林 野 火 災	9	4	6	6	14	1	3	4	2	3
車 両 火 災	1	3	4	7	5	4	7	5	5	9
その他の火災 (船舶火災含む)	4	9	19	13	13	6	9	16	16	14
計	119	125	127	121	145	103	85	149	122	131

区 分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
建 物 火 災	111	112	83	102	102	129	94	84	71	79
林 野 火 災	2	2	4	2	2	0	0	1	0	1
車 両 火 災	6	7	13	5	6	11	11	8	3	4
その他の火災 (船舶火災含む)	10	11	12	12	12	9	9	14	11	16
計	129	132	112	121	122	149	114	107	85	100

区 分	平均	H25
建 物 火 災	98.7	85
林 野 火 災	3.3	5
車 両 火 災	6.2	10
その他の火災 (船舶火災含む)	11.8	19
計	119.9	119



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は逃げ遅れ12人(40.0%)、放火自殺10人(33.3%)、出火後再進入1人(3.3%)の順となっている。(表2-11)

表2-11 火災による死者の生じた原因 単位：人・%

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	平均	25年	構成比
逃 げ 遅 れ	15	8	7	12	17	11.8	12	40.0
出 火 後 再 進 入	0	1	1	0	0	0.4	1	3.3
着 衣 着 火	3	2	2	5	3	3	0	0.0
放 火 自 殺	8	12	7	9	8	8.8	7	23.3
その他(不明・調査中)	4	7	13	16	8	9.6	10	33.3
計	30	30	30	42	36	33.6	30	100.0

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65歳以上が16人（53.3%）と多く、次いで6歳から64歳が14人（46.7%）の順となっている。（表2-12）

表2-12 年齢別の死者数

単位：人・%

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	平均	25年	構成比
0歳～5歳	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
6歳～64歳	11	12	6	13	9	10.2	14	46.7
65歳以上	13	18	24	29	27	22.2	16	53.3
不明	1	0	0	0	0	0.2	0	0.0
計	25	30	30	42	36	32.6	30	100.0

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他（不明・調査中）を除き6歳から64歳、65歳以上ともに、逃げ遅れが最も多くなっている。（表2-13）

表2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

単位：人

区分	0歳～5歳	6歳～64歳	65歳以上	不明	計
逃げ遅れ	0	5	7	0	12
出火後再進入	0	0	1	0	1
着衣着火	0	0	0	0	0
放火自殺	0	4	3	0	7
その他(不明・調査中)	0	5	5	0	10
計	0	14	16	0	30

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、一酸化炭素中毒・窒息7人（23.3%）、火傷7人（23.5%）、自殺7人（23.3%）、となっている。（表2-14）

表2-14 死因別の状況

単位：人・%

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	平均	25年	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	8	9	7	8	9	8.2	7	23.3
火 傷	11	5	13	18	13	12.0	7	23.3
骨折・打撲等	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
自 殺	8	12	6	9	8	8.6	7	23.3
そ の 他	2	2	2	1	3	2.0	1	3.3
不 明	1	2	2	6	3	2.8	8	26.7
計	30	30	30	42	36	33.6	30	100.0

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性23人（63.9%）、女性13人（36.1%）となっている。（表2-15）

表 2-15 火災による男女別状況

単位：人・() 構成比%

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年
男 性	16(53.3)	18(60.0)	18(60.0)	27(64.3)	23(63.9)	19(63.3)
女 性	14(46.7)	12(40.0)	12(40.0)	15(35.7)	13(36.1)	11(36.7)
計	30	30	30	42	36	30

(6) 過去20年間の火災種別出火件数の推移

平成25年の出火件数は963件で、過去20年間の平均出火件数1,025件と比較すると、62件少なくなっているが、過去5年で最多となった。

火災種別ごとに見ると、建物火災427件、林野火災49件と過去3年で最も多く、特にその他火災は403件と過去16年で最も多かった。車両火災は84件と過去20年間で2番目に少なかった。(表2-16)

表 2-16 過去20年間の火災種別出火件数の推移と平均

区 分	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
建物火災	602	607	547	566	567	532	496	539	555	560	529
林野火災	105	120	118	95	99	49	67	46	63	49	27
車両火災	93	118	142	128	138	161	144	144	167	146	151
船舶火災	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0
その他の火災	319	490	399	409	324	244	239	295	375	357	235
計	1,120	1,335	1,207	1,200	1,129	986	946	1,024	1,160	1,112	942

区 分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	平均	H25
建物火災	539	524	488	529	494	443	417	418	398	518	427
林野火災	48	46	30	49	34	54	35	34	21	59	49
車両火災	151	133	134	112	125	119	95	90	81	129	84
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他の火災	314	266	337	332	299	329	255	299	257	319	403
計	1,052	969	989	1,022	952	945	802	842	757	1,025	963

